

7. ノックスドール水性制振遮音コーティング剤物性・施工仕様データ例

項目	種類	Noxudol 3100 シリーズ
比重		990±30 kg/m ³
塗布最適温度		16-30° C
乾燥後重量		64±2%
乾燥後の耐熱		100°C
引火点		> 100°C
熱伝導率		0.156 W/mK
耐塩水性	5%塩水96時間浸漬	合格
耐塩水噴霧性	5%NaCl 35°C	240時間以上
耐油性	50°Cオイル3h浸漬	良好

工程	種類	Noxudol 3100 シリーズ	
素地調整		ゴミ、サビ、油分、汚れの除去。	
下塗		サビ止めプライマーの刷毛またはスプレー塗り。 垂鉛引き鋼板やアルミ素材にはプライマーは特に必要無し。	
上塗	希釈(水)	メーカーにて適正粘度調整	
	刷毛塗り	可能	
	ヘラ塗り	可能	
	エアスプレー	1L専用ガンまたはリシンガンなど	
	エアレス	ポンプ56:1~68:1。ノズルチップ0.025~0.045 (グラコキング)	
塗布量	膜厚	所要量	
	1.5~2.5mmの場合	1.5~4.0kg/m ²	1.5~2.5mmの場合
乾燥	気温20°C~23°Cの場合		
	指触乾燥	6h~8h	1回の施工は2.0~3.0mm(Wet)まで
	完全硬化	7日~14日間	
備考	乾燥時間は膜厚、温度、湿度によって差が生じる。 保管温度は2°C~30°C。保存期間は12ヶ月。		



SPRAYABLE

SOUND DAMPING COMPOUND

8. 水性制振遮音コーティング剤施工直後と乾燥後塗膜



9. ノックスドール水性制振遮音コーティング剤認証規格例

- ISO 9001/14001
 - Lloyd Certificate Approval No. SAS FO20401
 - Euro Certificate MED No. 12641/A0 EC
 - NK Japan Certificate 03FPA60DC
 - JG Certificate F- 233号
 - IMO MSC61(67)「煙と毒性試験」
 - IMO A.653 (16)「隔壁、天井及び甲板仕上げ材の表面燃焼性試験」
 - 鉄道車両用材料燃焼試験「極難燃性」
 - Volvo Corporate standard STD 5031,1
- 他

お問い合わせ先

 株式会社 創新 < Soshin Co., Ltd. > ケミカル営業部

電話 (03) 3918-3100 FAX (03) 3918-3511
〒170-0012 東京都豊島区上池袋 4-11-16 ノックスドールビル3F

E-mail noxudol@soshin-j.co.jp URL <http://www.soshin-j.co.jp/>



株式会社 創新

1.製品特徴

- 高い制振性
- 水溶性・1液
- 極難燃性
- 低環境負荷
- 基材密着性
- 軽量
- 結露防止
- 断熱性
- 耐水性
- 塗布施工作業性

2.残響時間 (T60) < Reverberation Time (T60) >

- 60dBまで減衰するまでの時間。(少ないほど残響がなく、制振性能が高いこととなります。)

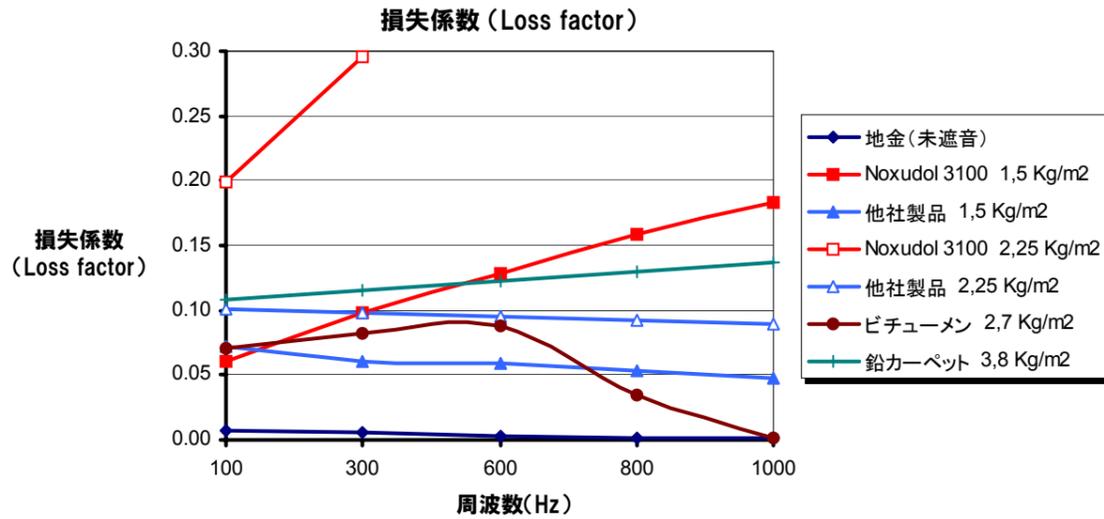
残響時間 (Reverberation Time T60)

材質	基材 (mm)		乾燥後塗布量 (Kg/m ²)		残響時間 T60 (Sec)
	板サイズ	厚さ	サイド1表面	サイド2裏面	
FRP	500×500	5	-	-	5.48
	500×500	5	2.0	-	0.64
鉄板	400×250	10	-	-	65.5
	400×250	10	3.0	-	1.8
	400×250	10	3.0	3.0	0.585
アルミ板	300×300	5	-	-	99.6
	300×300	5	2.4	-	0.95
コンクリート板	400×200	50	-	-	1.55
	400×200	50	2.5	-	1.10

Noxudol 3100

3.損失係数 (他材料との比較) < Loss factor >

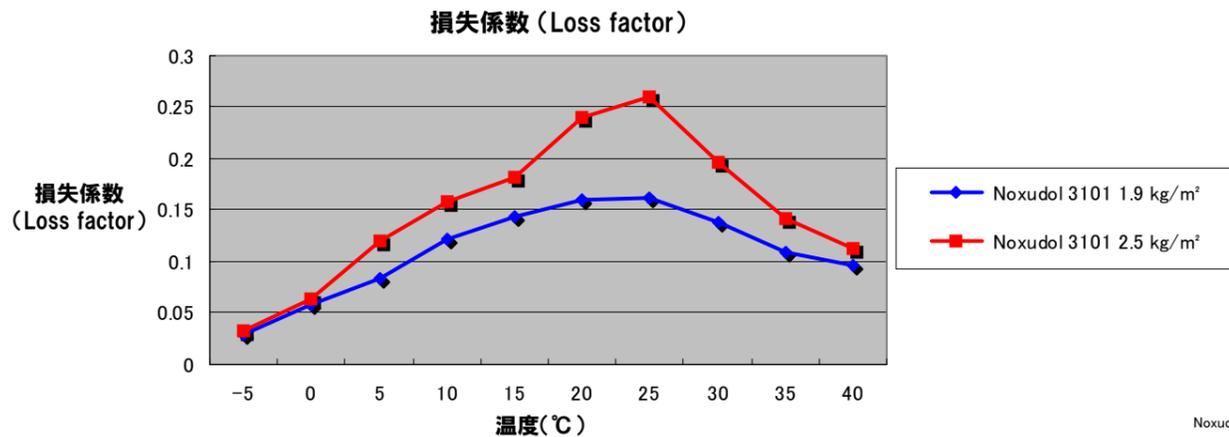
- 異なる材料との損失係数データ。(基材に1mm厚の鉄板を使用・23℃で測定)



Noxudol 3100

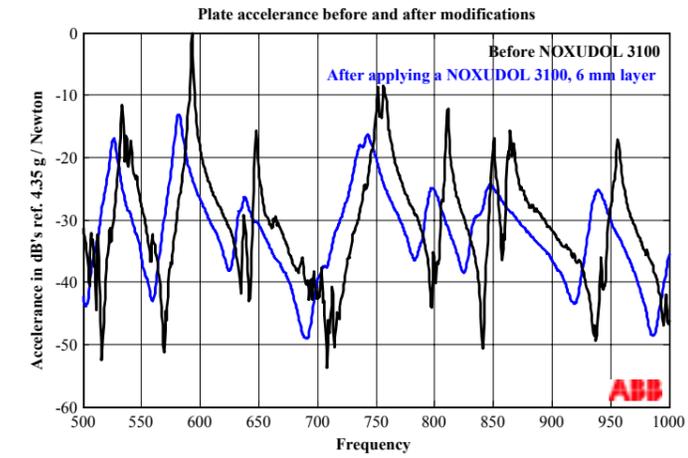
4.損失係数 (温度別) < Loss factor >

- 温度別の損失係数データ。(基材に厚1mm×幅10mm×長240mmの鉄板を使用測定)



Noxudol 3101

5.ABB データ < 「Sound Damping og Motor」より抜粋 >



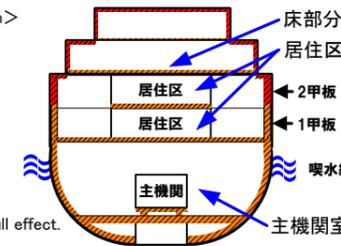
Noxudol 3100

6.各産業分野におけるノックスドール水性制振遮音剤の応用例

船舶

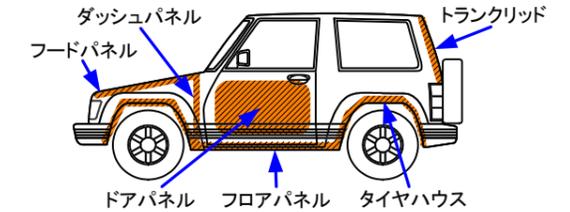
<スウェーデン・アルミ船事例:23.8m>

- boat made by "Djupvik":
 - pilothouse 66,2 dBA
 - command room stem 72,8 dBA
 - accommodation room 69,6 dBA
 - engine room 113,2 dBA
 - afterdeck 95,2 dBA
 - main deck 81,7 dBA
 - foredeck 95,7 dBA
- The measurement was made with full effect.



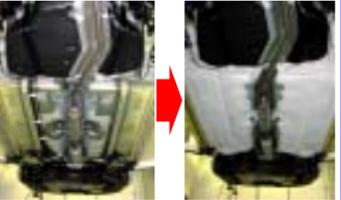
水性制振遮音剤塗布養生 水性制振遮音剤施工後断熱剤貼付 水性制振遮音剤施工後

自動車



水性・制振ノックドール遮音剤施工結果
4ドアクーペ新車・自動車検査機器(騒音計)

- ① ドア(室内でオーディオをPLAY)車外測定
施工前 → 92.7dB
施工後 → 85.5dB = 差 7.2dB
- ② エンジンアイドリング時で室内測定2
施工前 → 43.5dB
施工後 → 42.8dB = 差 0.7dB
- ③ エンジン回転3000時で室内測定(排気音含む)
施工前 → 60.0dB
施工後 → 56.8dB = 差 3.2dB
- ④ エンジンアイドリング時車外でフードの頭上測定
施工前 → 58.2dB
施工後 → 57.2dB = 差 1dB



制振遮音剤施工前 床下ノイズ軽減

鉄道

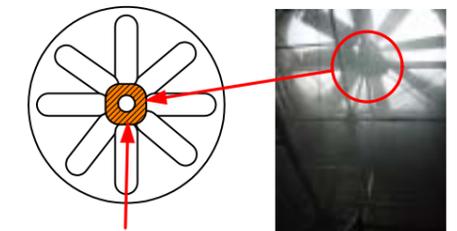


水性制振遮音剤施工車輻 水性制振遮音剤施工ガン 施工前床面



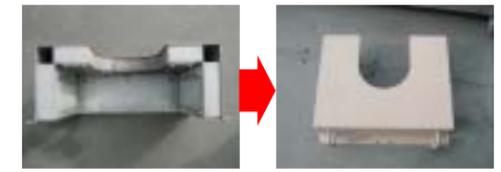
鉄道車両床面へ制振剤施工 鉄道車両床面へ制振剤施工

冷却塔



水性・制振ノックドール遮音剤塗布部位
6dB~7dBの減騒音効果を発揮

冷却塔ファン下部



軸受カバー純正吸音材(効果が得られない) 軸受カバーに水性制振遮音剤を施工